

コートジボワール政治史略年表（2012年まで）

年・時期	事項
<b>植民地創設以前</b>	
1000	この頃までに現在のコートジボワール北部へボルタ系の拡大が進んだとされる
11世紀	この頃以降、今日のコートジボワール地域へのマンデ系の拡大が開始
1471	ポルトガル人航海者が初めてパルマス岬から東の海域へ進出
1602	今日のコートジボワール地域の海岸を「(象の) 歯の海岸」と呼ぶ記録が残される
16世紀	この頃までに南マンデ系が現在の分布地を占めたとされる
17世紀	この世紀半ば以後、アカン系の拡大が盛んになる／この世紀末から奴隷売買が活発化（19世紀初めごろまで続く）
1700	この前後にフランスがアッシニに拠点を築き、短期間これを維持
1838	フランス海軍によるギニア湾岸での調査航海の実施
1843	フランスがアッシニとグラン・バッサムに要塞を建設
1864	コートジボワールと英領ガンビアの交換交渉が英仏間で開始される（1876年まで）
1871	フランスがコートジボワールの要塞から行政・軍事要員を引き上げ、その後の行政事務を商館に委任
1883	コートジボワールのフランス拠点の管轄権がガボン司令官に移管
1883	イギリスのゴールド・コースト植民地側との国境画定交渉開始
1886	コートジボワールのフランス拠点の管轄権がコナクリ総督に移管
1887	コートジボワール内陸部の首長国（アンデニエなど）とフランスのあいだに初めて保護領条約が締結
1887	バンジュールによる内陸踏査（1889年まで）
1892	リベリアとフランスのあいだに初めての国境画定条約が締結される
<b>植民地創設以降</b>	
1893	コートジボワールが単独の植民地として創設される（3月10日）。総督府はグラン・バッサムに置かれる
1895	フランス領西アフリカ（AOF）創設。コートジボワール植民地も編入
1896	コートジボワール植民地がAOFから切り離される
1898	フランス軍がサモリを拘束／イギリスのゴールド・コースト植民地側との国境がほぼ画定
1899	今日のコートジボワール北部（オジェンネ、コング、ブナ）の管轄がフランス領スーダンからコートジボワールに移管／コートジボワール植民地がAOFに再統合

年・時期	事項
1900	植民地総督府がバンジュールヴィルに移転
1905	この年にウフェ＝ボワニが誕生したとされる
1908	アングルヴァンがコートジボワール総督に就任
1911	リベリアとの国境画定交渉が終結
1923	オートボルタ植民地が廃止され、その領土の一部がコートジボワールに編入される
1920年代	コートジボワールで本格的なココア栽培が開始／この頃までにコートジボワール領内の「平定」が完了／コートジボワール現地人権益防衛協会（ADI-ACI）結成
1934	植民地総督府がアビジャンに移転／行政首長ポストへ職階制が導入
1940	フランス本国にナチス・ドイツの占領政権であるヴィシー政権が成立。コートジボワール植民地はヴィシー派の総督のもとに置かれる
1943	コートジボワール総督にドゴール派のラトリーユが着任（8月）
1944	アフリカ人農業組合（SAA）創設決定（7月）。発足総会開催（9月）
1945	アビジャン地方評議会選挙でSAAを母体とする「アフリカ人連合」が勝利（8月）／フランス憲法制定議会選挙。制限選挙ながら初めてアフリカ人が直接選挙に参加。第2回投票でウフェ＝ボワニが当選（11月）
1946	強制労働を廃止する法律（ウフェ＝ボワニ法）がフランス憲法制定議会でも可決（3月）／第2回フランス憲法制定議会選挙。ウフェ＝ボワニが再選（6月）／アフリカ民主連合（RDA）創設。そのコートジボワール支部としてコートジボワール民主党（PDCI-RDA）創設（10月）／第1回フランス国民議会選挙。ウフェ＝ボワニらが当選（11月）／コートジボワール総評議会選挙実施（12月）
1947	PDCI支持派だったラトリーユ総督の退任。以後PDCIと植民地総督府の関係が険悪化。コートジボワール進歩党（PP）がPDCIとの協力関係を破棄
1948	オートボルタ植民地が再創設／コートジボワール総評議会補選実施（5月）
1950	トレッシュヴィル地区での暴動。多くのPDCI幹部が逮捕される
1951	労働者調達のための関係事業者組合（SIAMO）がオートボルタ植民地での農業労働者の募集活動を開始／第2回フランス国民議会選挙。ウフェ＝ボワニらが当選（6月）
1952	第1回コートジボワール領土議会選挙実施。PDCIが参加した選挙連合が勝利（3月）
1955	翌1956年にかけ、コーヒー価格安定基金とココア価格安定基金が創設。価格安定事業の開始
1956	第3回フランス国民議会選挙。ウフェ＝ボワニらが当選（1月）
1957	第2回コートジボワール領土議会選挙が初めて普通選挙制のもとで実施。PDCIを中心とする統一リストの圧倒的勝利（3月）

年・時期	事項
1958	フランス第5共和政が開始（10月）
1959	フランス共同体内での独立。共同体構成国としての憲法が制定される（3月）／コートジボワール立法議会実施。PDCIの単独党となる（4月）／サンウィによる独立要求運動が起こる
<b>独立以降</b>	
1960	コートジボワール独立（8月7日）／独立国としての憲法制定（第1共和制）。総選挙でウフェ＝ボワニが初代大統領に選出（11月）
1962	農産物価格安定支持公庫（CAISTAB）設立
1963	ウフェ＝ボワニ，PDCI内での粛清を進め支配体制を確立
1965	総選挙。ウフェ＝ボワニ，大統領に再選
1967	官製学生組織内で民主化要求が高揚（1969年まで）
1970	総選挙。ウフェ＝ボワニ，大統領に三選／ゲビエの事件が発生
1975	総選挙。ウフェ＝ボワニ，大統領に四選／大統領空位時に関する憲法第11条の改定
1977	コートジボワール，ガーナを抜き世界最大のココア生産国となる
1978	ココアの国際価格の暴落
1980	ヤセの失脚／総選挙。ウフェ＝ボワニ，大統領に五選。国民議会選挙は単党制のもとで複数候補が争う制度で実施／国民議会議長にベディエが就任／憲法第11条の再改定
1982	教員労組や学生組織による大学運営の改革要求の高まり。政権による弾圧
1983	首都を内陸部のヤムスクロに移転
1985	憲法第11条の三度目の改定／総選挙。ウフェ＝ボワニ，大統領に六選。国民議会選挙は単党制のもとで複数候補が争う制度で実施
1990	大規模な民主化要求運動（2月）／PDCIにおいて複数政党制の導入が決定される（4月）／アビジャンで兵士の反乱。ゲイが参謀総長に就任（5月）／大統領選挙の実施。ウフェ＝ボワニがバボを破り七選（10月）／憲法第11条の四度目の改定。複数政党制のもとでの国民議会選挙実施。PDCIが圧勝。ワタラが首相に就任（11月）
1993	ウフェ＝ボワニ死亡。憲法にしたがいベディエが大統領への就任を宣言（12月7日）
1994	PDCIからワタラ支持者が離党し，共和連合（RDR）を創設（9月）／イボワール人性条項を盛り込んだ選挙法の制定（12月）
1995	大統領選挙。バボはボイコット，ワタラは不参加。ベディエが当選（10月）／国民議会選挙。PDCIが圧勝（11月）
1996	「共和国の不安定化計画」の容疑でゲイ元参謀総長が逮捕（11月）

年・時期	事項
1998	土地法制定／ベディエ政権，腐敗行為を問題視され相次いで援助が停止される
1999	CAISTAB 解体／ワタラが正式に RDR に加入（7月）／逮捕を避けワタラがフランスへ出国（9月）／タブー事件（11月）／軍事クーデタ。ゲイ元参謀総長を首班とする軍事政権の樹立（12月）
2000	待遇改善を求める兵士の反乱。憲法草案の賛否を問う国民投票（7月）／第2共和制憲法の発効（8月1日）／ゲイの暗殺未遂事件（9月）／民政移管のための大統領選挙実施。ゲイ首班の不正行為をきっかけに騒乱発生。バボが新大統領に就任（10月）／国民議会選挙の実施。FPI が第一党となる（12月）
2001	未投票選挙区での国民議会選挙の実施（1月）／コミュニケーション選挙（3月）／国民和解フォーラム（10～12月）
2002	4大政治家の直接会談（1月）／県議会選挙（7月）／MPCI の挙兵により内戦勃発（9月19日）／MPIGO と MJP の挙兵（11月）
2003	マルクーシ合意。ジャラが挙国一致内閣の首相に就任（1月）
2004	野党・反乱軍共同での和平推進集会に対する軍事的鎮圧（3月）／バボ政権が停戦協定を一方的に破棄し，ブアケに空爆。フランス軍の対抗措置をきっかけに大規模な反仏運動が発生（11月）
2005	ワタラの大統領選挙への出馬を認める政治的決着の成立（4月）／選挙の見送り。ECOWAS，AU の勧告をふまえた安保理決議によって，バボ大統領の任期を1年延長（10月）／挙国一致内閣の首相にバニが就任（12月）
2006	出張法廷の開催（5～8月）／選挙見送り（10月）／アビジャンで大規模な廃液投棄事件（9月）
2007	ワガドゥグ合意（3月）／信頼地域の順次撤廃が開始（5月）／出張法廷の再開（9月）
2008	国土再統一の完了（7月）／有権者登録の開始（9月）／選挙の見送り（10月）／ワガドゥグ合意第4追加合意（12月）
2009	有権者登録の終了（6月）／有権者登録データの問題が顕在化（10月）／選挙見送り（11月）
2010	有権者登録の見直し作業が中断。内閣総辞職。選挙管理委員会解散（2月）／有権者名簿の確定（9月）／大統領選挙第1回投票（10月）／大統領選挙第2回投票（11月）。選管がワタラ当選を発表。憲法裁判所がバボの異議申し立てを承認。バボが大統領就任を強行。ワタラも就任式を開催（12月）
2011	退陣要求デモへのバボ側の武力弾圧（2月）／ワタラがコートジボワール共和国軍（FRCI）を創設し軍事行動を開始。安保理決議1975（3月）／UNOCI とフランス軍共同でのバボ派拠点への空爆。FRCI によるバボの身柄拘束（4月）／ワタラが大統領就任宣誓（5月6日）／バボの身柄が ICC に引き渡される（10月）／国民議会選挙。FPI のボイコット。与党連合の圧勝（12月）
2012	ソロが国民議会議長に就任（4月）／土地法改正（8月）